

唐木田コミュニティセンター運営協議会
第4回定期総会議事録

日 時：2014年5月11日（日）10：00～12：20

場 所：からきだ菖蒲館2階ホール

来 賓：多摩市長：阿部裕行、多摩市議会議長：白田満、くらしと文化部市民活動支援課長：萩原敏明、市民活動支援課主任：小尾憲一郎、多摩市図書館長：小林弘宣、唐木田図書館長：栗崎佳津美、唐木田児童館長：三枝弘士、和（なごみ）カフェ店長：池上ヒロ子

出席者数：40名 委任状14名 計54名（5月10日現在の運営委員数64名）

議 長：川井 博之
書 記：小林美香
司 会：平 修

1. 配布資料

- ・唐木田コミュニティセンター運営協議会第4回定期総会 平成26年度議案書（案）
- ・ 第4号議案 役員選出（案）
- ・ 第6号議案 平成26年度 事業費/活動費その1 予算内訳（案）訂正書類

2. 挨拶

（挨拶）

- ・会長 橋本正晴

第4回総会に多数のご出席頂きありがとうございます。

今日は平成25年度の報告と平成26年度の事業についての説明を行います。

2010年（平成22年）に運営協議会を発足してちょうど4年になります。

1年目はコミュニティセンター開館の準備にあて、2012年度より「からきだ菖蒲館運営」は、3年の実績を積みました。祭り、医療講座、コンサート、講演、ウォーキングマップ作成、唐木田駅前の花壇造り、高齢者の為の映画、食事会の開催、利用者懇談会と地域連絡会の開催、20回の広報紙発行等をしてきました。これが3年の実績です。

今日で、今までの役員が退任となり、新しい役員を選任しての出発となります。ついては、これまでの実績の評価と平成26年度からの唐木田コミュニティセンターの新たな運営について平成26年度総会（第4回）でご審議をお願いします。

- ・来賓：阿部裕行多摩市長

良い天気にも恵まれての第4回総会開催をお喜び申し上げます。

市長として、私は「地域コミュニティの調整」と「幸福感あふれる街づくり」を掲げ、そ

れが使命だと思っています。

「からきだ菖蒲館」には度々来館しており、このコミュニティセンター委員各位が祭りやウォーキングマップを始め、多くの市民の為を思っている活動に感服している。それが地域の中に根を張っている活動と嬉しく思っています。

役員が新しくなるという事ですが、菖蒲館の伝統と幸福感あふれる街づくりを共に創っていきたくと考えています。

・来賓： 白田満多摩市議会議長

多摩市議会を代表し、第4回総会開催をお喜び申し上げます。

菖蒲館では幅広い年齢層の方が活躍活用され、この素晴らしい建物と共に素晴らしい運営がなされていると思っています。地域の特性にあった公共施設の運営が一番大切だと思っています。

今日の総会にご参加の皆様益々の御健勝と「からきだコミュニティセンター」の発展を祈念致しまして挨拶とさせていただきます。

・来賓紹介と挨拶

萩原敏明（くらしと文化部市民活動支援課長）、小尾憲一郎（市民活動支援課主任）、小林弘宣（多摩市図書館長）、栗崎佳津美（唐木田図書館長）、三枝弘士（唐木田児童館長）、池上ヒロ子（和カフェ店長）

3. 総会議長の選出

- ・運営協議会運営細則第3条の規定により、総会出席者の中から議長は川井博之氏が推薦され満場一致で承認された。

※議長から議案書内容の訂正について説明

32ページにある斎藤美砂子さんの氏名の文字「斎」を「齊」に訂正。

4. 議長による総会成立の宣言

- ・運営細則第3条の規定により議長は、書記に小林美香氏、議事録署名人に柳井慎司氏、原田譲氏を指名した。
- ・議長は、運営協議会委員総数64名のところ、総会出席者40名、委任状提出者14名、計54名であり、これは議決権総数の半数に達しており、運営協議会会則第6条により本総会は有効に成立したと宣言した。
- ・後藤事務局長を議事進行補佐として指名した。

5. 議事

- ・議長より第1号議案と第2号議案はまとめて審議したい旨の説明があり、承認された。

第1号議案 平成25年度活動報告（案）

議案説明：会長 橋本正晴より平成25年度活動報告のうち総括について、続いて各部長より部会報告、会長から特別委員会の報告がなされた。（議案書 p.3~p.12）

1. 総括

- (1) 唐木田コミュニティセンター運営協議会定期総会
- (2) 指定管理者関係
- (3) 定例会議関係
- (4) 連絡会関係
- (5) 会計・経理関係
- (6) その他、特記事項

2. 総務企画部会
3. 広報部会
4. 健康・スポーツ部会
5. 福祉・環境部会
6. 文化部会
7. まちづくり部会
8. 特別委員会

第2号議案 平成25年度決算（案）

議案説明：会計担当役員 望月健太郎より平成25年度決算（案）（議案書 p.13～p.16）の説明がなされた。引き続き、戸辺監事より横倉敏郎及び戸辺文博が決算報告書（議案書 p.17）の監査を行った結果、業務執行状況及び会計執行状況ともに適正であった旨の報告があった。

質疑応答：

1. 質疑：まちづくり部会の桐木優氏より

第2号議案で周年記念事業準備基金の項目が昨年度総会ではあったが、今年度では無くなっている。何故か。また、本年度（平成25年度）の単年度では収支が赤字になっているが、その理由は何か。

回答：会計担当役員 望月健太郎より

積立金は収支差額の一部であるとした。

繰越金の一部は周年記念事業準備基金の一部に使いたいし、その額は別途三井住友銀行口座にある。

単年度収支についてですが、25年度はスタッフ交代時期にあたり、臨時の支出が50万円強出ました。繰越金については、あまり多くない方が良いと思います。

質疑：まちづくり部会の桐木優氏より

了承しました。

2. 質疑：まちづくり部会の松原俊範氏より

ギャラリーが空いている時に学習コーナーとして解放してるが、稼働率を上げた方が良くないと思いませんか？

回答：会長 橋本正晴より

空いている時間の有効利用も一つの考え方だと思っています。については、空い

ている時間帯を学習室に転用するなどではどほどに使っています。

質疑：まちづくり部会の松原俊範氏より

ギャラリーは全体のスペースではなく3つぐらいのスペースに分割して貸し出せば利用者の利便性と利用料が安くなる。

回答：会長 橋本正晴より

提案の件は既に検討したが、多摩市の条例で決まっており、その案は現在のところ実行できません。

採 決：第1号議案、第2号議案とも賛成多数により、本議案は原案通り承認された。

第3号議案 運営協議会会則の一部改訂について（案）

議案説明：副会長 河本博治より説明があった。（議案書 p.18~p.20）

質疑応答：特になし

採 決：賛成多数により、本議案は原案通り承認された。

第4号議案 役員選出（案）

議案説明：会長 橋本正晴より4月20日締め切りで委員各位に自薦・他薦の推薦を呼びかけたが、候補者がなかった。役員会において役員選出推薦委員会を立ち上げ、そのメンバー（会長と各副部会長の7名）で3回の討論をし複数の候補者を推薦した。これを第16回役員会で候補を絞り決めた旨の説明があり、役員候補者名（議案書 p.21）が提案された。

※議案書 p.21 は5月11日定期総会にて提案

質疑応答：特になし

採 決：賛成多数により、本議案は原案通り次の7名の役員が承認された。

会長	河本博治
副会長	橋本 勲
	横倉敏郎
会計	吉江 勉
	太田浩子
監事	石田禎頭
	小林美香

臨時議案 相談役の選出（案）

議案説明：新会長 河本博治より会則10条、11条にもとづき相談役に前会長 橋本正晴氏を推薦したいとの提案があり、橋本正晴氏を選出した。

質疑応答：特になし

採 決：賛成多数により、本議案は原案通り承認された。

第5号議案 平成26年度活動計画（案）

議案説明：新会長 河本博治より平成26年度活動計画案の運営方針（議案書 p.22）が、

各部長より事業活動が、新会長 河本博治より特別委員会事業が、それぞれ提案説明がなされた。(議案書 p.23 ~p.25)

I 運営方針

II 事業活動

1. 総務企画部会
2. 広報部会
3. 健康・スポーツ部会
4. 福祉部会
5. 文化部会
6. まちづくり部会
7. 特別委員会

質疑応答：

質疑：まちづくり部会の桐木優氏より

広報紙の配布エリア、鶴牧はトムハウスと菖蒲館の広報紙と重なって配布されるが配布エリアはどのようなになっているのでしょうか。

回答：前広報部会長 橋本勲より

トムハウスは個別配布をされており確かに鶴牧の一部地域は配布が重なっている。菖蒲館の広報紙は新聞折込みをしており、新聞配布とコミュニティーセンター利用エリアが一致しているわけではない。他にはコミュニティーセンター全館、児童館等各施設およびコンビニ等に配布しています。

採 決：賛成多数により、本議案は原案通り議決された。

第6号議案 平成26年度予算(案)

議案説明：前会長 橋本正晴より議案書 p.27 を基に提案説明がなされた。

尚、議案書 p. 28 ~p.29 は別紙の差し替え書類の配布がり、提案説明がなされた。

質疑応答：

1. 質疑：まちづくり部会の桐木優氏より

単年度、65万円の赤字になると思うが、来年度予算にはお金が無くなると思われるが？

回答：相談役 橋本正晴氏より

平成26年度予算書の収支は例年度の予備費を計上しても、均衡しています。繰越金が多くならないように配慮しています。ただし、運営委員会の活動費及び事業費ではかなりの余裕をもった予算としています。昨年度の活動費・事業費の実績が65%程度です。このことについて、役員会でも議論になりましたが、コスト意識が強い活動委員のご努力により支出をセーブしていただけただけのもので、予定していた事業ができなかったことではありません。来年度繰越金も例年通りの額になるものと予測しています。

2. 質疑：まちづくり部会の池田正氏より

どんぐりパンとは共同経営となっているが営業の収支についてはどのような

っているのか。

回答：前会長 橋本正晴より

営業の収支・損益に関しては関与しない事になっており、どんぐりパンの赤字を補填する事はないという覚え書きになっています。しかし広報等の支援はしています。

3. 質疑：まちづくり部会の池田正氏より

議案の予算案とは別件になるが、運営協議会に 20 代 30 代の方達が積極的に関われる仕組みがあれば良いと思います。

回答：前会長 橋本正晴氏より

努力はしていきたいですが、社会的な状況もあり、若手参入は時間的に難しい面もあり、如何ともし難いと思っています。

採 決：賛成多数により、本議案は原案通り議決された。

報告事項：

・前総務企画部会長 吉江勉より報告事項（議案書 p.30 ~p.31）の説明があり、承認された。

議長より、第4回定期総会の終了宣言がなされ、閉会された。

以上

議事録の証として、運営協議会運営細則第3条の規定に基づき、議事録署名人が署名・捺印する。

平成26年5月30日

議長

川井 博之 

議事録署名人

柳井 慎司 

原田 讓 